

全国一般神奈川

発行者
 全国一般労働組合全国協議会神奈川
 横浜市中区翁町 1-5-14
 新見翁ビル4F
 TEL. FAX.
 045-319-4391

テクノエーブ不当労申立て 第1回調査行われる 団交拒否・組合への支配介入を許さない！

8月14日にテクノエーブの23年春闘団交拒否について不当労働行為救済申立を行ったところ、会社は代理人弁護士を任命し、会社提示の10月31日に団体交渉が行われた。しかし代理人弁護士は着任したばかりで、6か月にも及ぶ団交拒否期間に交渉できなかった案件の交渉には到底至らず、現状確認にとどまった。

11月24日(金)の第1回調査には労働委員会は代理人弁護士のみが出席し、テクノエーブ社長の出席はなかった。テクノエーブは過去にも団交拒否、不誠実団交を繰り返しており、労働委員会で組合が勝利しているが、過去を反省することなく再び団交拒否を行った。このよ

うな団体交渉を蔑ろにした会社の態度を決して許すわけにはいかない！と、多くの組合員が傍聴支援に参加した。

第1回調査に先立ち提出された答弁書で、会社は

代表取締役社長の体調不良により延期しただけで団交拒否ではないと主張してきた。しかし社長は団交中にも、今後団交をしたくないという主旨の発言をしている。さらに組合からの再三の団交日程調整の要求に対しても、次回団交日程を提示することなく、組合と組合員に対する非難を書き連ね、団交に応じない旨のファックスを送信し続けた。組合を嫌悪し明確な意思をもって団交拒否に及んだことは明らかである。

団交ができなかった期間、組合員は社長からの個人攻撃に傷つけられ、大事な賃金交渉ができなかったことで組合は組合員や職場の労働者からの信用や信頼、さらに組合の存在意義を失った。会社側の激しい組合敵視による、団交拒否、組合への支配介入は決して許すことはできない。会社側が不当労働行為を改めるまで、闘い続けま

す！

第2回調査は12月26日に決まった。引き続きのご支援よろしくお願ひします。

(テクノエーブ 清水)

丈夫屋

地位確認訴訟で証人尋問

12月21日(木)
 13:30~

横浜地裁 502号法廷

大勢の皆さんの傍聴を！

スケジュール

- 12月13日 20時 事務所LINE 神奈川合同支部会議
- 12月16日 15時 厚木ファミリーボウリング会
- 12月16日 17時30分 郵政会議
- 12月16日 17時30分 県央地区忘年会
- 12月17日 10時 事務所 機関紙発送作業
- 12月17日 14時 寿公園 寿労働相談
- 12月18日 19時 事務所 第3回担当者会議
- 12月21日 13時30分 横浜地裁 丈夫屋地位確認裁判証人尋問
- 12月21日 19時 事務所 県共闘事務局会議
- 12月22日 18時30分 JAL本社 JAL本社包囲行動
- 12月24日 14時 事務所 第3回支部代表者会議 忘年会
- 12月25日 17時30分 横浜西口 JAL横浜西口情宣行動
- 12月25日 19時 生活館 寿越冬突入集会
- 12月26日 10時 県労委 テクノエーブ県労委第2回調査
- 1月9日 19時 事務所 第4回執行委員会

寿越冬闘争に集まろう！

●12月29日~1月3日 寿公園 県共闘では 仲間と力子 労働相談を行ないます。可能な方は、短時間帯でも結構ですので、協力をお願いします！

ウクライナ・パレスチナに平和を！

県共闘・反戦平和学習会参加報告

館内は、10のテーマごとに展示コーナーが設けられ、そこには戦時中にも使われていたと思われる、衣類や洗面具などの実物の資料や川崎市高津区に残る「海軍東京通信隊蟹ヶ谷分遣隊地下壕」の当時を再現した模型が展示され、また、2か

11月25日午後2時から開催された、神奈川県共闘主催の反戦平和学習会に参加しました。昨年は、大日本帝国陸軍が兵器開発や諜報活動などを行っていた、川崎市にある「登戸研究所」を見学し戦争の加害の実態を学びました。今回は、敗戦により接收され1975年に返還された跡地の、川崎市中原区に建つ「川崎市平和館」で戦争被害の実態を映像や資料から学ぶ学習会でした。



模擬焼夷弾の下をくぐる

所の映像室では、1945年4月の川崎大空襲の様子と体験者の話の記録映像と、「戦争、そしてもうひとつの戦争」「ひとつの地球・ふたつの世界」が上映され見ることができました。



資料展示コーナーにて

学習会は、約1時間30分行われましたが、情報量が多くもう一度行きたいと思えますが今回の学習会で、今現在も継続しているウクライナ・パレスチナでの戦争が、遠くの課題ではないことを再度考えるきっかけとなりました。(佐藤)

何といつても、2階導入口の頭上には落下する焼夷弾の模型を展示しています。それは川崎大空襲で落ちてくる焼夷弾であり、その下をかくくぐるって逃げるという疑似体験する場所でもありました。そして次のコーナーでは、体験者の話や記録映像が上映され、戦争の真実を伺い知ることになりました。館内展示は、戦争・武力紛争だけでなく、貧困や環境破壊、差別などさまざまな内容がわかりやすく展示されてもいました。

「介護 福祉総がかり行動 厚労省 財務省交渉に参加



大石あきこ 衆議院議員(れいわ)も出席

介護保険制度の改善が続き、これ以上黙っていられないと11月24日、「介護・福祉総がかり行動」の厚労省・財務省交渉が取り組まれました。

厚生労働省交渉での要求事項

1 介護労働者の抜本的な処遇改善を求める要求 2 ホームヘルパーの処遇を抜本的に改善するための要

求 3 負担増・サービス削減の介護保険制度見直しの中点を求める要求 4 障害福祉サービスからの高齢者排除を改めさせ、同サービスの改善を求める要求

財務省交渉での要求事項

1 社会保障の改善・充実に必要な財政支出を行い、防衛費(軍事費)拡大を止めること。2 国の責任で介護現場の深刻な人手不足を解消し、介護労働者の抜本的な処遇改善を実施すること。3 介護保険見直しに向けた財務省の改善提言(財政制度等審議会建議)を撤回すること。

17時で答弁終わりの予定でしたが、各回の回答に追求及び追加の回答を求めた為に30分以上伸びて終了しました。介護現場は、ほんとに人員不足でひっ迫しているのが現状です、これからも皆の声を国にあげ続けて行きましょう。(野中)

11月16日 県共闘ボウリング大会開催！



11月16日伊勢佐木ヤングボウルにて県共闘恒例のボウリング大会が開催されました。傘下組合の仲間たちが参加し個人戦にて競技は行われました。

大会では、狙った通り弾けるように全ピンが倒れるナイスショットや、ボール任せで側溝のお掃除のように。(河野)